スポーツ都市宣言６０周年に向けて

資料５

１　スポーツ都市宣言

⑴　宣言日　昭和４１年１１月１２日（土）
⑵　経　緯　昭和４１年～
スケートの街といわれた苫小牧市も、他のスポーツ競技人口が増加。
体育協会（当時）においては１０種目を超える加盟団体を持つ組織となり、スポーツ界が一段と盛り上がりをみせる。
この年、苫小牧体育協会会長　市村修平氏と苫小牧商工会議所会頭　岩倉巻次氏の連名による「スポーツ都市の宣言をすること」の陳情書が提出され、市議会の議決を経て、全国初「スポーツ都市宣言」に至る。

２　60周年（令和８年度）に向けたスポーツ事業の取り組み方

スポーツを「する」
・市民参加型イベントの開催

スポーツを「観る」
・全国規模の大会開催
・プロスポーツの試合開催

スポーツを「支える」
・氷上スポーツ競技
・部活動地域移行関連

スポーツを「つくる/はぐくむ」
・特色あるスポーツイベントの充実
・大学、企業等との連携

スポーツで「あつまり、ともに、つながる」
・ニュースポーツ、パラスポーツの推進

スポーツに「誰もがアクセスできる」
・気軽にスポーツに親しめる「場づくり」等の機会の提供